

心エコー室で検査を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心エコー法による肺静脈血流速度波形分析に基づく左室の硬さの非侵襲的評価法の研究

[研究機関] 北海道大学大学院保健科学研究院、北海道大学病院循環器内科および検査・輸血部

[研究機関の長] 北海道大学病院長 寶金 清博

[実施責任者] 岡田 一範（保健科学研究院・助教）

[研究の目的]

左室硬さの増大は、明瞭な心不全症状が現れる直前のかなり危険な状態を意味し、その評価は、心不全のリスクを見積もり、それを予防する上で極めて重要です。その正確な評価には、血管を通して心臓までカテーテルを入れる心カテーテル検査が必要ですが、そのためには入院が必要で、稀には危険な合併症をおこすこともあります。そこで、私たちは、北大病院循環器内科で過去に心カテーテル検査と心エコー検査を受けた患者様の検査結果を詳しく調べ直し、手軽で全く安全に行える心エコー検査で左室の硬さを評価するより良い方法を見出したいと考えました。その成果は、北大病院内外の心臓病の患者様のより正確な診断と的確な治療に役立てたいと考えます。

[研究の方法]

●対象となる患者様

2012年1月から2014年10月までの間に、北海道大学病院循環器内科を受診され、担当医が診療のために必要と判断し心カテーテル検査と心エコー検査を行った患者様（目標50例）。

●利用する診断情報

- ① 年齢、性別、身長、体重、収縮期血圧、拡張期血圧
- ② 診断名、病歴、身体所見、検査所見、治療内容。とくに心不全の重症度について

- ③ 心カテーテル検査所見：検査レポートに記載された検査所見および、検査時に記録された左室圧波形の分析
- ④ 心エコー検査所見：検査レポートに記載された検査所見
- ⑤ 心エコー画像解析：検査時に記録した静止画や動画の再検討

[個人情報の取り扱い]

本研究にあたっては、患者様の個人情報保護に十分配慮します。研究担当者が北大病院内で診療記録や心エコー検査結果（画像を含む）を収集した後は、お名前、ご住所をはじめ、患者様を特定できる情報を一切削除した上で研究を進めます。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際、患者様の個人情報には一切触れることはありません。

* 上記の研究に検査結果を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

札幌市北区北 12 条西 5 丁目

北海道大学大学院保健科学研究院・助教 岡田 一範（実施責任者）

電話 011-706-3404, FAX 011-706-4916